

2011年11月9日

株式会社アイデム 人と仕事研究所

所長 平田未緒

主婦パート～どのような人たちか？～

*参 考

○アンケート調査（主婦パート本人調査・企業調査）

≪資料1≫

- ◆『平成22年版 パートタイマー白書
～主婦パートの実態と今後の可能性～』より
第1章 主婦パートの実態 調査結果（本人調査より抜粋）

≪資料2≫

- ◆『平成19年版 パートタイマー白書
～パート・アルバイトの戦力化[人材の確保]～』より
第2章 労働時間と社会保険 自由回答（本人調査より抜粋）

- ◆『平成22年版 パートタイマー白書
～主婦パートの実態と今後の可能性～』より
第1章 主婦パートの実態 自由回答（本人調査より抜粋）
第4章 労働力としての今後の可能性 自由回答（同上）

○ヒアリング調査（主婦パート本人調査）

- ◆人とマネジメント Web 情報誌『現場イズム』に下記記事等として掲載
連載企画「パートタイマーの胸のうち」
連載企画「パートタイマー活用講座」
連載企画「非正規社員マネジメント・レッスン」
※資料添付なし

◎資料掲載 URL : <http://workium.aidem.co.jp/>

主婦パート～どのような人たちか？～

◆多様な人たち（家庭環境、家族構成、就労意向、キャリア志向…）

…切り分けて考える必要

- 1、年齢階層
- 2、子どもの有無

◆働く目的（《資料1》*以下同/図 1.1）

家計維持（最低限の生活費を稼いだり、ローン返済などを行う） 35.9%

家計補助（将来に向けた貯蓄や、教育費などの支払いを行う） 44.4%

生活向上（レジャーや趣味などに必要な費用を増やす） 18.8%

※「家計維持」…子ども有り、20代に多い

※「生活向上」…年齢階層が上がるほど多く、60代では 29.4%

◆労働時間（表 1.15）

20～30 時間での勤務者が多い

◆年収と就労調整（表 1.16/表 1.17）

○主婦パート本人の年収

約 75%が「年収 103 万円以内」で就労

※参考/「自社のパートは全員年収 103 万円以内」とした企業は 28.8%

○夫の年収（図 1.19）

平成 21 年度は、平成 20 年度に比べ「とても減った」「やや減った」が 45.6%

○夫の年収減に伴う働き方の変更（表 1.20）

「働き方を変えたかったが、変えられなかった」…40代に多い（29.6%）

「今まで働いていなかったが、働き始めた」…30代に多い（18.4%）

「現在の勤務先での労働時間を増やした」…20代に多い（23.7%）

「特に働き方を変える必要がなかった」…50代、60代以降に多い(61.0%・77.8%)

○主婦パート本人の年収制限（図 1.21/表 1.22）

「している」「していない」…ほぼ半々

「している」理由…所得税非課税限度枠・配偶者控除適用（41.0%）

第3号被保険者資格保持（24.2%）

<参考／平成10年『パートタイマー白書』より>

○非課税限度額への留意

年収が103万円を超えることについて

気にしない…20.7%

調整する…41%（超えないように…30.5%、超えそうになったら…10.5%）

超えることはないので気にしない…36.8%

その他・無回答…1.5%

◆仕事に関する今後の意向

○今後の正社員意向（図4.2／表4.2）

「働きたい」…20代（41.6%）、30代（38.1%）に多い

生活維持目的で働いている主婦に多い（37.0%）

子ども有り、に多い（35.1%）

○「年収制限している」人の、

年収制限が必要なくなった場合の働き方（図4.7）

（社会保険の適用拡大・配偶者控除の廃止等が実施されたと仮定して）

「パート・アルバイトのまま、労働時間を増やす」…44.0%

「とくに働き方は変えない」…31.7%

○「子どもがいる」人の、子どもの成長に伴う働き方（図4.8）

「パート・アルバイトのまま、労働時間を増やす」…39.7%

「パート・アルバイトではなく、正社員として働く」…26.5%

◆社会保険<加入／非加入>意向

別紙 《資料2》 参照